

<b>授業科目名</b>	人間教育学ゼミナール（応用）(2100310)		
<b>時間割名</b>	人間教育学ゼミナール（応用）(35108)		
<b>時間割担当</b>	岡野聡子		
<b>実施期</b>	通年	<b>単位数</b>	4 必修 選択
<b>曜日・時限</b>	水・5		

### 授業の目標・概要

卒業研究に向けて論文や制作活動を行う。自らの専門分野についての研究をまとめ、形にすることによって、自らの人間教育学に関する学びの集大成とする。

### 学習の到達目標

1. 自らデータ収集を行うことができ、各フィールドノートのまとめを1000字程度で書く事ができる。
2. 1年後には、8000字の研究ペーパーを書き、他者の前で発表できるようになる。

### 授業方法・形式

1. 各自、フィールドに出向いて、データ収集、研究手法、データのまとめ方を学びます。
2. リサーチペーパーの作成については、講義形式で行います。

### 授業計画

- 第1回 オリエンテーション  
授業の目的および内容の説明、成績評価について説明します。
- 第2回 人間教育学ゼミナール（基礎）における経過報告会  
現在の研究およびプロジェクトの経過について報告をします。
- 第3回～第6回 フィールドワーク  
各人、フィールド調査に出かけ、プロジェクトに取り組む。
- 第7回 成果中間報告会【 】  
得られた成果を自分なりに報告します。
- 第8回～第13回 フィールドワークとプレゼンテーションスキルの向上  
中間報告会の内容を受け、プレゼンテーションスキルのブラッシュアップを行う。  
各人、フィールド調査に出かけ、プロジェクトに取り組む。
- 第14回 成果中間報告会（準備）  
得られた成果を、これまでの学びを活かし、報告します。
- 第15回 成果中間報告会【 】  
得られた成果を、レジュメ、パワーポイントを用いながら報告します。
- 第16回 オリエンテーション  
授業の目的および内容の説明、成績評価について説明します。
- 第17回 第3回～第15回までの成果、夏休み課題の経過報告会  
現在の調査研究の経過について、振り返り、今後の課題を報告します。
- 第18回 リサーチペーパーとは  
リサーチペーパーとは何か、報告書の書式、目次の立て方、文章構成を学ぶ。
- 第19回～第20回 リサーチペーパーの作成  
これまでの成果をリサーチペーパーとしてまとめる。（はじめに～第1章部分）
- 第21回～第23回 リサーチペーパーの作成  
これまでの成果をリサーチペーパーとしてまとめる。（第2章～第3章部分）
- 第24回～第26回 リサーチペーパーの作成？  
これまでの成果をリサーチペーパーとしてまとめる。（第3章～第4章部分）
- 第27回～第28回 リサーチペーパーの作成  
これまでの成果をリサーチペーパーとしてまとめる。（第5章部分～おわりに）
- 第29回 リサーチペーパーの提出準備  
リサーチペーパーをまとめ、提出準備に取り掛かる。
- 第30回 リサーチペーパーの提出  
リサーチペーパー（8000字程度）を提出する。

### 成績評価の基準

1. 毎回の振り返りシートの記入（50％）
2. リサーチペーパーの作成・提出（50％）

### 準備学習・復習及び授

適宜、授業内にて指示する。

### 履修上のアドバイス及

大学4年間の集大成として、是非とも各人の課題に真剣に取り組み、それぞれの成果をあげてほしいと思います。また、8000字程度のリサーチペーパーを書くことにより、自身の問題意識、論理力、提案力、粘り強く物事をまとめる力等、さまざまな能力を磨くことができます。是非とも、やり切ってくださいたく思います。

## 教材・教科書

特になし

## 参考書

適宜、授業内にて指示する。